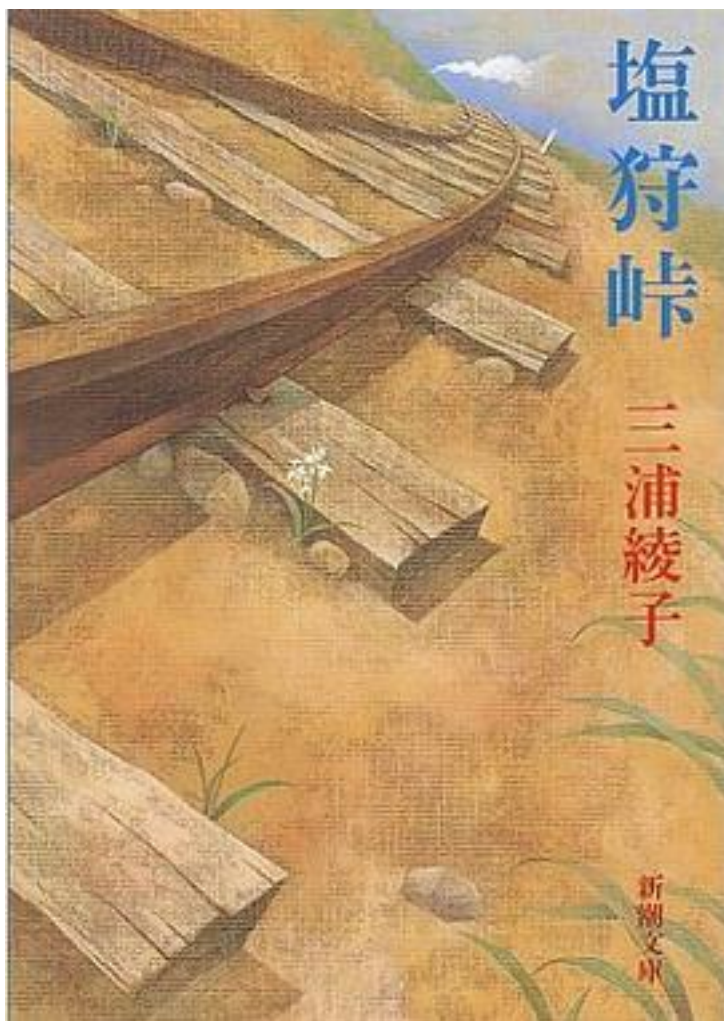


塩狩峠



[塩狩峠_下载链接1](#)

著者:三浦 綾子

出版者:新潮社; 改版版

出版时间:1973/05

装帧:

isbn:9784101162010

結納のため札幌に向った鉄道職員永野信夫の乗った列車が、塩狩峠の頂上にさしかか

った時、突然客車が離れ、暴走し始めた。声もなく恐怖に怯える乗客。信夫は飛びつくようにハンドブレーキに手をかけた…。明治末年、北海道旭川の塩狩峠で、自らの命を犠牲にして大勢の乗客の命を救った一青年の、愛と信仰に貫かれた生涯を描き、人間存在の意味を問う長編小説。

作者介绍:

三浦 綾子

1922 - 1999。旭川生れ。17歳で小学校教員となったが、敗戦後に退職。間もなく肺結核と脊椎カリエスを併発して13年間の闘病生活。病床でキリスト教に目覚め、1952(昭和27)年受洗。’64年、朝日新聞の一千万円懸賞小説に『氷点』が入選、以後、旭川を拠点に作家活動。’98(平成10)年、旭川に三浦綾子記念文学館が開館(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[塩狩峠 下载链接1](#)

标签

三浦綾子

日本

小説

评论

没有什么可说的。读平庸的书真的蛮痛苦的。

主角信夫的一生，及他对人生人性的认知。在宗教的认识和信仰的过程中，内心的养成。最后毫无畏惧的做出牺牲，也是主人公生命的一种升华。

[塩狩峠_ダウンロード1](#)

书评

[塩狩峠_ダウンロード1](#)